

いつまでも こうふく 口福で笑顔に



菅 梓 [すが・あずさ]

医療法人社団五色会 介護老人保健施設五色台（香川県）

施設紹介

瀬戸大橋や四国の玄関口として有名な坂出市は、香川県の中央部に位置する人口約5万人の小さな市です。坂出市の高齢化率は2022年度で36%であり、全国平均（29.0%）を大きく上回っています。

医療法人社団五色会（理事長: 佐藤 仁^{ひとし}）を母体とする老健施設「五色台」（施設長: 佐藤 太彦^{たかひこ}）は、1996年7月、坂出市に開設しました。入所定員は100名、通所定員は20名、そして従業員68名が勤務しています（2025年1月現在）。

地域住民の方々にとっては、介護施設は距離を感じる場所です。そこで、カフェの運営や夏祭りの開催などを行うことで、地域の方とのつながりを大切にしています。

はじめに

私は医療系の職業に就きたいと思い、学生時代は介護や福祉に興味をもって学んでいました。そのなかで歯科衛生士をめざしたのは、国家資格であり、子どもから高齢者まで幅広い層と接することができ、口から全身の健康を支えることができると考えたからです。専門学校を卒業して1年間県外の大学病院で勤務した後、もっと患者に寄り添いたい、口腔ケアを学びたいと思い、当法人に勤務して12年目になりました。

最初は高齢者の方々と思うようにコミュニケーションがとれず苦戦しました。しかし頼もしい先輩スタッフの支えや励ましもあり、次第に笑顔で会話ができるようになりました。いまだに悩み、落ち込むこともあります。ご利用者からの「スッキリした、ありがとう」「たくさん話せて楽しかった」という言葉を励みに、今日まで勤務できています。

業務紹介

当法人の歯科スタッフは計8名で、うち歯科医師3名（日本歯科専門医機構認定歯周病専門医在籍）、歯科衛生士4名、事務職員1名で構成しています。私は、当法人が運営する「こころの医療センター五色台」（精神科病院、280床）で歯科治療や入院患者の口腔ケアに携わる傍ら、院内だけでなく、ここ老健施設「五色台」においても歯科治療や口腔ケアに従事しています。具体的には、歯科治療が必要なご利用者に対して車いす上で処置を実施したり、歯科衛生士が個別にベッドサイドやデイルームへ訪問して口腔ケアを行ったりしています。また施設内での処置が困難な治療であっても、スタッフが当法人歯科診療室へ送迎することで、専門的なむし歯治療、歯周病治療や入れ歯の作製などが可能です（写真①）。

私が得意とする施設での業務は、ご利用者や施設スタッフとコミュニケーションをとり、口腔ケアを行うことです。ただ口腔内をきれいにするだけではなく、口について困ったことや異変がないかを確認し、問題があればすぐに歯科医師が対応できるよう予約調整や手続きを行っています。

また、毎月行われるミールラウンドに参加して、ご利用者が適した食事を摂取できるように、残存歯数や嚥下状態・義歯使用の可否等、口腔の状況を多職種に提供しています。

そして、半年に1回、施設で開催される勉強会において、ご利用者の健康に役立つ口腔に関するトピックについてお話しています。内容については、歯磨き指導だけではなく、誤嚥性肺炎・嚥下体操・歯と認知症の関係等、多岐にわたります。それだけ、昨今では健康のために口腔の状態が重視されてきています。高齢者の健康維持に欠かせない情報を多職種